

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 北測)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営トップが積極的に関与し、あらゆる雇用条件で差別がないことを確認している																	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			経営トップが積極的に関与し、ハラスメントがないことを確認している <2022年>社員の子育て応援宣言登録					  		  								  		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・個人への負荷低減のため業務のフォロー体制を強化 ・36協定を締結し、時間外労働が上限時間を超えないよう管理している							  										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在は雇用していない								  	  								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			現場では土木工事安全施工技術指針及び現地調査安全衛生手帳に準拠し安全を確保し作業している <2023年>社内研修で安全衛生講習会を開催、安全器具の使用方法を確認、安全対策への意識を高めた								  									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・有休の連続取得促進補助制度を設け、連続休暇を取得しやすい環境を整え、心身のリフレッシュを推進している <2022年>職場いきいきアドバンスカンパニー認証																	
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・短時間勤務制度や再雇用制度を設け、多様な人材が活躍できる体制を整えている <2022年>社員の子育て応援宣言登録、職場いきいきアドバンスカンパニー認証					  			  	  								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・資格手当や資格取得のための補助制度を設けている ・日常業務でのOJTのほか、技術習得のため外部研修等へ参加し能力開発に取り組んでいる ・技術優秀者への社内表彰制度を設けている					  			  	  								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の原則に沿い、職務内容や能力に応じ、公正な待遇に努めている					  			  	  								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・ジムやトレーニング費用の一部を補助し、健康維持を推進することで生産性の向上に努めている ・就業時間中にストレッチなどで心身をリフレッシュする時間帯を設けている								  									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			分別を徹底し、リサイクルを推進することで、廃棄物の削減に取り組んでいる										  	  		 				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	【予定】エネルギー使用量、温室効果ガス排出量を集計し、推移を把握する また、全従業員へ報告し温暖化対策への意識を高める							  				  						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			オフィスへ太陽光発電システムの設置、照明のLED化、老朽化エアコンの更新などの省エネ活動に取り組むことで温室効果ガスの排出を抑制している							  			  	  						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		【予定】	【予定】法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切に管理する			  		  					  	  						

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・生態系保護に配慮した土木設計を行っている ・長野県からの豚コレラに関する蔓延防止策や天竜川漁業共同組合からの外来種対策を社内周知し、山や川に入る際の注意事項として徹底している						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			分別を徹底し、3Rを推進することで、廃棄物の削減に努めている												12.5	14.1				
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			水資源の無駄使い防止に努めている						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ			現在、環境マネジメント規格は取得していない			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			長野県道路クリーン作戦に参戦し、地域の環境美化活動に取り組んでいる様子などをHPにて公開している												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			オフィスへ太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーを利用することで、温室効果ガス排出量を抑制している							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ															12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			社内教育において周知している																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			社内教育において周知している																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			各業務において参考文献の出典を記載し、著作権その他の権利を侵害しないよう対応している								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			情報管理規程、個人情報保護方針を定め、個人情報の保護に関する法律、その他関係法令を遵守し、情報漏洩がないよう適切に管理している																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			直接、紛争鉱物を取扱う業務はないが、紛争鉱物規制対応メーカーの製品を購入するよう努める																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ								5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	【予定】2025年3月までにパートナーシップ構築宣言へ登録を行う			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			各業務において情報管理のための計画を定め、情報漏洩の防止や提出成果品の安全確保など適切な情報管理に努めている			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・各業務において品質確保のための計画を定め、精度の向上に努めている ・新工法や技術の提案や、環境や条件に適した対応を心掛け、付加価値のある業務の遂行に努めている								9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			生物多様性、河川、森林の保全に配慮した土木設計や、現場条件に配慮した業務の遂行に努めている						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・発注者や地域のニーズを聞き取り、課題解決のための成果品を納めるよう努めている ・新工法や技術の提案や、環境や条件に適した対応を心掛け、付加価値のある業務の遂行に努めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			災害又は事故における緊急的な応急対策の支援に関する協定書に基づき、災害発生時の緊急出動に備えている				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・長野県道路グリーン作戦に参戦し、地域の環境美化活動に取り組んでいる ・高校生への建設実践プロジェクトへ参加し、地域の次世代を担う人材育成活動に取り組んでいる ・日本赤十字社へ寄付を行い、活動を支援している				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			長野県産材を使用した土木設計を心掛けている									8	9		11	12	13			
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			経営理念を明文化し、社内でも共有している									8	9							17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			各業務において関連法令を確認し、遵守に努めている																	16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			専任の担当者を配置している																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			都度、対話を心掛けステークホルダーと良好な関係が築けるよう努めている																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																				16
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			地域に起こった災害に対し迅速に対応することも社会的責任と考え、地域に根差した企業としてプレゼンスを発揮できるよう努めている																	16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			定期的に避難訓練を実施している									9		11		13 13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			若手技術者の採用・育成をしている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格

※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定